

七高SSH通信

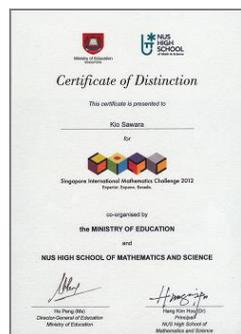
～七尾高校理数科だより～

H24・6・13
石川県立七尾高等学校
SSH推進室
平成24年度 第2号

おめでとう！ シンガポール国際数学チャレンジ第2位！

5月21日（月）～25日（金）に、本校理数科と交流を行っているシンガポール国立大学付属理数高校（NUSハイスクール）において、第3回シンガポール国際数学チャレンジ2012（通称SIMC: Singapore international mathematics challenge)が行われ、本校生徒4名が参加し、国内高校では過去最高位の2位入賞という快挙をなすとげました。

参加したのは、3年普通科文系の佐原君、同じく理系の太田君、清酒君、理数科の今井君の4人で、七尾高校としては初めての参加でした。世界22ヵ国45校が参加したこの大会で、各チームが2日間かけて解答のレポートを作成し、英語でプレゼンテーションを行うという形式で、「迷子の少女を飼い犬が探し出す確率」など4つの難解なテーマに挑戦しました。帰国した4人は、校内の表彰伝達式で「入賞できてとても嬉しい、世界の広さを実感した」など、日本最高位の受賞の喜びを語っていました。



SIMCとは？

シンガポール国際数学チャレンジ、通称SIMCとは、シンガポール共和国で行われている国際的な数学イベントで、世界中から優秀な学生を集め、数学的モデリングに挑戦し、彼らの創造性と数学的能力、スキルを競うことを目的として隔年で開催されている大会です。また、コンペティションだけでなく、国を超えての専門的交流を図ることも目的のひとつであり、シンガポール教育省と科学技術庁の支援を受けて今年で3回目の大会となります。今回は、アメリカ、ロシア、中国など22ヵ国45校、日本からは本校と東工大附属科学技術高校、立命館高校、横浜サイエンスフロンティア高校、熊本北高校の5校が参加し、英語コミュニケーション能力と数学の力を競い合いました。

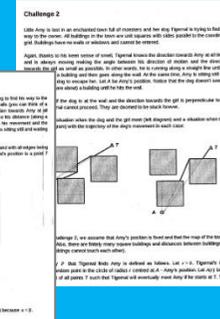


NUS 学生寮にて。与えられた課題に取り組んでいるところ。夜中の3時までがんばりました。

プレゼンの様子。厳しい質問も飛び交いました。



問題



他国の生徒とも交流しました。



ちょっとだけ観光も楽しみました。左はマリーナベイサンズ。



4人に今回の感想を聞いてみました。皆口をそろえて、やはり英語力の大切さを痛感した、学校の授業では書くこと、読むことが中心だが、外国へ行くとスピーキング、リスニングが中心となるので、ちょっとした日常会話ができるよう勉強した方が良く、とのことでした。また、今回2位をとることができた最大の理由は、という質問には、「ミスリードがなく模範解答に近い解答だったから」と、あくまで謙虚でしたが、「メンバーが良かった、誰が指示するわけでもなく自然とそれぞれが自分の役目を見つけ、こなしていき、余裕があれば他の人を手伝う…といった理想のチームワークができていた」、というコメントもあり、数学が得意な他は特に共通点のない4人でしたが、互いのコミュニケーションが上手くとれた結果だったようです。最後に七高生が今後1位をとるにはどうしたらよいと思うか、という質問には「学校の勉強だけで満足しないで欲しい、貪欲な知的好奇心と、学んだことを生活の中でどう活かしていくか、そういうことを常に意識していて欲しい」という答えでした。4人ともお疲れ様でした。

日食観測・金星観測会

5月21日（月）に部分日食が、6月6日（水）には金星の太陽面通過という天文現象があり、本校でも観測が行われました。SSC（スーパーサイエンスクラブ）天文班が中心となって、天文ドームや屋上で説明を交えながら観測会を実施しました。興味のある生徒達もたくさん集まり、めったにみられない珍しい光景に歓声をあげていました。



食の最大。あたりは薄暗く夕方ようになりました。



上部の黒い点が金星。



いずれも天文班撮影